



大震災の後、ヨブ記を読む1
「主が与え、主が取られる。」
ヨブの苦難は誰の責任だったのか
マイリス・ヤナツイネン

聖書の最初の答え

- 主は苦しみのない世界をおつくりになった。
- 最初の人間の墮落によって、死と苦しみがこの世に入った。
- 今自然までうめく：地震、津波、台風など
- 主の裁き

主は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのを御覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。主は言われた。「わたしは人を創造したが、これを地上からぬぐい去ろう。人だけでなく、家畜も言うものも空の鳥も。わたしはこれらを造ったことを後悔する。」しかし、ノアは主の好意を得た。創世記6：5－8

●預言者たちの民への忠告

そのとき、主であるわたしが憤れるだけ憤り、熱情をもって語ったということを彼らは知ようになる。わたしはお前を廃虚とし、すべての旅人の目にも、周りの国々にも、嘲りの的とする。...わたしは飢えと狂暴な獣をお前たちに送り込み、子供たちを奪わせる。疫病と流血はお前の中を通り抜ける。またわたしは剣をお前に臨ませる。主なるわたしがこれを告げる。」エゼキエル5：13－17

- 苦しんでいる神
- 新しい天と地

世界一幸せな人、世界一いい人

ウツの地にヨブという人がいた。無垢な正しい人で、神を恐れ、悪を避けて生きていた...羊七千匹、らくだ三千頭、牛五百くびき、雌ろば五百頭の財産があり、使用人も非常に多かった。彼は東の国一番の富豪であった。ヨブ記1：1

●ヨブの家庭生活：

ヨブは七人の息子と三人の娘を持っていた。...息子たちはそれぞれ順番に、自分の家で宴会の用意をし、三人の姉妹も招いて食事をすることにしていた。(1：2、4新共同訳)

- 奥さんひとり

背景

- ウスの地、アブラハムたちの時代
- エサウの家族？
- モーセの律法も記されたみ言葉もなかった。

いけにえに基く信仰

この宴会が一巡りするごとに、ヨブは息子たちを呼び寄せて聖別し、朝早くから彼らの数に相当するいけにえをささげた。「息子たちが罪を犯し、心の中で神を呪ったかもしれない」と思ったからである。ヨブはいつもこのようにした。(1:5).

- ヨブの家族の礼拝
- 罪人の代わりに生贄が罰せられるその信仰。
- ヨブ記の最初にも最後にも生贄が出てくる。

ヨブの十戒

●災いは悪い人にだけ襲ってくるのか？決してそうではない。ヨブの生き方をみてください。

1. 結婚相手に忠実でありなさい
私は自分の目と契約を結んだ。どうしておとめに目を留めよう。もしも、私の心が女に惑わされ、隣人の門で待ち伏せしたことがあったなら、・・・これは恥ずべき行ない、裁判にかけて罰せられる罪だ。実に、それは滅びの淵まで焼き尽くす火だ。私の収穫をことごとく根こぎにする。(31：1,9－12)

- 2. 正直でありなさい
- 3. 召使いと奴隷を人間らしく扱いなさい
- 4. 貧しい人を助けてやりなさい
- 5. お金に頼ってはいけない
- 6. 偶像礼拝をしてはいけない
- 7. 敵にも復讐してはいけない
- 8. 他人をも、もてなしなさい

●わたしの天幕に住んでいた人々が 「彼が腹いっぱい肉をくれればよいのに」と言ったことは決してない。見知らぬ人さえ野宿させたことはない。わが家の扉はいつも旅人に開かれていた。(31:31-32 新共同訳)

- 9. 罪を隠してはいけない
- 10. 土地(自然)を守りなさい

天の広場

ある日、主の前に神の使いたち(神の子ら)が集まり、サタンも来た。1:6

主は天の広場でヨブをほめられる主はサタンに仰せられた。「おまえはわたしのしもべヨブに心を留めたか。彼のように潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている者はひとりも地上にはいないのだが。」(1:8)

- 主の宣言 『ヨブは義人だ』
- サタンの答え: ヨブの信仰はご利益だ
「ヨブが利益もないのに神を敬うでしょうか。あなたは彼とその一族、全財産を守っておられるではありませんか。彼の手の業をすべて祝福なさいます。お陰で、彼の家畜はその地に溢れるほどです。ひとつこの辺で、御手を伸ばして彼の財産に触れてごらんください。面と向かってあなたを呪うにちがいません」(1:9-11)

主とサタンとの賭け

主はサタンに仰せられた。「では、彼のすべての持ち物をおまえの手に任せよう。ただ彼の身に手を伸ばしてはならない。」1:12

- 私たちは誰の手の中にいるのか
- 主はやはりヨブの信仰に信頼された。

ヨブは財産を失う、10人の子供を失う

「御報告いたします。御長男のお宅で、御子息、御息女の皆様が宴会を開いておられました。すると、荒れ野の方から大風が来て四方から吹きつけ、家は倒れ、若い方々は死んでしまわれました。」1:18-19

- 奥さんのショック
- ヨブの祈り
「私は裸で母の胎から出てきた。また、裸で私はかしくに帰ろう。主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」(1:21)

質問

●ヨブはこの言葉を通して、何を言いたかったのか?

●ヨブは何のために主のみ名をほめたたえたのか?

●「主は与え、サタンは取られる(奪われる)。」もしヨブがこういったのなら、その信仰はどう変わったのでしょうか。

●ヨブの苦しみはだれのせいだったのか: サタン? ヨブの罪? 子供たちの罪? 偶然の出来事? たたり? 因縁? 神様?

●宇宙と地球という『会社』の社長さんはだれですか。

●もしあなたが東北に住み、何もかも失ってしまったら、ヨブのこの祈りのことをどう思うでしょうか。

●「愛する主」は「奪われる主」でもある、と言うことを多くのキリスト者が信じたくないのは、なぜだと思いますか。

●「主は与え、主は取られる(奪われる)。主の御名はほむべきかな。」

●皆さんがヨブのこの祈りを祈ったことがありますか。どんな時でしたか。

●「海は二つの扉を押し開いてほとぼしり/母の胎から溢れ出た。わたしは密雲をその着物とし/濃霧をその産着としてまとわせた。しかし、わたしはそれに限界を定め/二つの扉にかんぬきを付け「ここまでは来てもよいが越えてはならない。高ぶる波をここでとどめよ」と命じた。」38:8-11

質問: 主のこの言葉を読む時、津波を偶然の出来事のように考えることができますか。なぜですか。

●ユダがパン切れを受け取ると、サタンが彼の中に入った。そこでイエスは、「しようとしていることを、今すぐ、しなさい」と彼に言われた。ヨネ13:27... イエスはペトロに言われた。「剣をさやに納めなさい。父がお与えになった杯は、飲むべきではないか。」ヨネ18:11. イエス様はその苦しみを誰の手から取られたのか?

大震災の後、ヨブ記を読むと、どんな答えが返ってくるのか?

●イエス・キリストこそ人の苦しみが一番良く分かってくたさるかたです。この世で一番大きな苦しみを負わせられたから。

●あなたに代わって地獄の苦しみを引き受けて下さった。

www.gladtidings.bs-com

「主は取られる」「よき知らせの学び」というホーム・ページ



大震災の後、ヨブ記を読む1

天の広場、もう一度

神の二回目の宣言： 「ヨブは今でも義人だ！」

神とサタンの二番目の賭け

サタンは答えた。「皮には皮を、と申します。まして命のためには全財産を差し出すものです。手を伸ばして彼の骨と肉に触れてごらんなさい。面と向かってあなたを呪うにちがいありません。」主はサタンに言われた。「それでは、彼をお前のいいようにするがよい。(あなたの手に任せよう)。ただし、命だけは奪うな。」 2：4-6

二番目のかけのために、ヨブは健康を失う

- サタンは主の前から出て行った。サタンはヨブに手を下し、頭のとっぺんから足の裏までひどい皮膚病にかからせた。 2：7
- できだらけのヨブは町からゴミ捨て場に追い出される。
- 陶器のかけらで体中をかきむしっている。

妻も分かってくれない

●妻： 「それでもなお、あなたは自分の誠実を堅く保つのですか。神を呪って死になさい。

●ヨブ： 「あなたは愚かな女が言うようなことを言っている。私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわいをも受けなければならぬではないか。」 (2：9-10)

- ヨブはこの信仰で間違っているのか
- サタンの名前を口にしない

マルチン・ルター

神様の右手と左手の業、右手救うこと
左手、個人と国民を裁くこと

ヨブはみんなに捨てられてしまう

「私の息は私の妻にいやがられ、私の身内の者らにきらわれる。小僧っ子までが私をさげすみ、私が起き上がると、私に言い逆らう。私の親しい仲間はみな、私を忌みきらい、私の愛した人々も私にそむいた。私の骨は皮と肉にくっついてしまい、私はただ歯の皮だけのがれた。」 (19：17-20) x x

ヨブ、イエス様のひながた

彼は軽蔑され、人々に見捨てられ／多くの痛みを負い、病を知っている。...わたしたちは彼を軽蔑し、無視していた。彼が担ったのはわたしたちの病／彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに／わたしたちは思っていた／神の手にかかり、打たれたから／彼は苦しんでいるのだ、と。イザヤ53：3-4

- ヨブの誘惑は、イエス様の誘惑のひながた
- 二人とも、神の僕
- 誘惑と試練は自分の罪のためではなく、神の栄光のためだった。
- 二人は自分の苦しみを神の御手からうけた。
- ただ、イエス様にとって、十字架は完全に左手の業だった。
あなたのために
- あなたは苦しかった時ヨブのように神の御名をほめなかったから。
- そして、あなたの苦しみを神のみ手から受け取らなかったから。

大震災の後、ヨブ記を読む2
友人の誤り、正しくない聞き方
ヨブ記5-25
マイリス・ヤナツイネン

大震災を経験した人々をどう慰めたらいいか

- 何も言わないこと？
- 「大丈夫！」だということ？
- 「笑顔が戻って欲しい！」？
- 「がんばってください！見せてやってください！」？
- あなたは人の悩みを聴くとき、何を言いましたか。

よいカウンセラーであった友人

そのうちに、ヨブの三人の友は、ヨブに降りかかったこのすべてのわざわいのことを聞き、それぞれ自分の所からたずねて来た。すなわち...エリファス、...ビルダデ、...ツォファルである。彼らはヨブに悔やみを言って慰めようと互いに打ち合わせて来た。(2:11)

- これは一週間続いた。
- 一週間後、ヨブは自分の苦しみを声に出すことにする
「わたしも口を閉じてはいられない。苦悶のゆえに語り、悩み嘆いて訴えよう。」7:11

友人の過ち

- 友人はヨブを慰めたいのですが、攻撃してしまいます
- 友人はヨブの文句を聞きたくない。神様に対して失礼だと思うから。神様の弁護を一生懸命する。
- ヨブの同じ嘆きの繰り返しを聞くとたまらなくなる。
- あなたは？

なぜ、なぜ？

「なぜ、わたしは母の胎にいるうちに／死んでしまわなかったのか。せめて、生まれてすぐに息絶えなかったのか。」3:11

「なぜ、労苦する者に光を賜り／悩み嘆く者を生かしておかれるのか。」3:20

- ヨブの質問は私たちの質問でもある：『神様はなぜ苦しみをお与えになるのか？』

- イエス様の「なぜ」？

イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。マタイ27:46

- 「なぜ」と問うても罪ではない。この点で友人たちが間違っている。

エリファスの失敗>

- 共感がないこと

「ああ、幸いなことよ。神に責められるその人は。だから全能者の懲らしめをないがしろにしてはならない。神は傷つけるが、それを包み、打ち砕くが、その手でいやしてくださるからだ。」(5:17-18)

- もしエリファスの子供たちがみんなお墓の中にいれば、どんな言葉をききたかったのか。
- エリファスの質問「人が神より正しくありえようか。造り主より清くありえようか。」4:17

●主の答え「地上に彼ほどの者はいまい。無垢な正しい人で、神を畏れ、悪を避けて生きている。」1:8

- エリファスは主の答えを知らなかっただけ。
- エリファスのもう一つの質問「さあ、呼んでみよ。だれかあなたに答える者があるか。聖者のうちのだれにあなたが向かって行こうとするのか。」5:1

●ヨブは主の方向へ一生懸命行こうとしている姿を、エリファスは見ることができないだけ。

- エリファスは因果応報を信じる「考えてみなさい。罪のない人が滅ぼされ／正しい人が絶たれたことがあるかどうか。わたしの見てきたところでは／災いを耕し、労苦を蒔く者が／災いと労苦を収穫することになっている。」4:7-8

- 生贄の意味はぜんぜん分からない

ビルダデの失敗：

苦しみをヨブの子供のせいにする「あなたの子らが 神に対して過ちを犯したからこそ彼らをその罪の手にゆだねられたのだ。」

(8：4)

●悲しんでいる父親の唯一の慰めを取ってしまった

ヨブは息子たちを呼び寄せて聖別し、朝早くから彼らの数に相当するいけにえをささげた。

1：5

因果応報についてのイエス・キリストのコメント

「シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいたほかのどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。決してそうではない。言うておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。」ルカ

13：4-5

●教会にこのことをいう勇気があるのか

シヨファルの失敗

むなしい慰め 「こうしてあなたは労苦を忘れ、流れ去った水のように、これを思い出そう。あなたの一生は真昼よりも輝き、暗くても、それは朝のようになる。・・・あなたが横たわっても、だれも、あなたを脅かさない。多くの者があなたの好意を求める。」(11：18-19)

●震災を経験した人は『笑顔が戻って欲しい』という言葉はむなしいです。

友人のその他の失敗

- 4. 聞き手が説教する
- 5. いい助言をいっぱい与える。
- 6. 非難、警告、脅しを言う。
- 7. 聞き手のほうがつまずいてしまう。

ヨブの話をだれも聞いてくれない

「憐れんでくれ、わたしを憐れんでくれ 神の手がわたしに触れたのだ。あなたたちはわたしの友ではないか。なぜ、あなたたちまで神と一緒にあってわたしを追い詰めるのか。肉を打つだけでは足りないのか。」19：21-

22

「栄光の神学者」であるエリファズたち

●「神は...もし怒った様子なら怒っておられ、慈愛に満ちた様子なら慈愛に満ちておられるの信じる。...つまり、神の隠された性質と隠された国のことは、栄光の神学ではわかりません。」 マイリス・ヤナツイネン：
「主は取られる」

●災いはヨブにとって、神のどっちの手の業であったのか？友人はそれが左手だったと確信した。

イエスも友人に捨てられてしまう

- わたしたちが苦しんでいる人を慰めることができなかったから。
- 慈しみ深き、友なるイエスよ
- イエス様はそんな弟子を友と呼ばれました。
- あなたにも本当の友がいる。

質問

- ヨブはだれの手の中にいるのか？
- ヨブの病気は誰の責任だったのか？
- 「宇宙と地球」と言う会社の社長さんはだれか？
- 神様はヨブ記のなかで一回も「それは私ではなく、あのサタンだった！」といわれぬのはなぜか。
- 「全能者」という神の名前はヨブ記の中に何をあらわしていますか。
- 津波を誰が送ったのか？
- 皆さんの苦しみをだれが送ったのか？

大震災の後、ヨブ記を読むとどんな答えが出るのか？

- 正しい聞き方をもって震災を経験した人を聞きなさい。「泣く人と共に泣きなさい。」ローマ12：15
- 「他の友はあなたの苦しみが分からなくても、イエス様が必ず分かってくださいます。」と言いなさい。「イエスさんは決してあなたから離れず、あなたを捨てない。」ヘブル13：6



大震災の後、ヨブ記を読む3 主のみ業はいつも正しいのか？ 疑問に陥ったヨブ ヨブ記3-31

ヨブの裁判

- 検事である友人： 完全な義人はこの世のなかにいない。あなたは罪人だ。
- 災いはヨブを罪に定める証人だ。
- 被告者であるヨブ： 私は義人だ。苦しみは私のせいではない。神は私に悪いことをした。
- ヨブは神を告訴したくなる。弁護士が欲しくなる。サタンについて何も言わない。
- 神である裁判官のもとの宣言を検事たちは知らない： 「彼は潔白で正しく、神を恐れ、悪から遠ざかっている人だ。」
- ヨブの誓い 「断じて、あなたたちを正しいとはしない。死に至るまで、わたしは潔白を主張する。わたしは自らの正しさに固執して譲らない。一日たりとも心に恥じるころはない。」 27：5-6
- 罪を犯したこともあると認めるヨブ 「なぜ、わたしの罪を赦さず悪を取り除いてくださらないのですか。」 (7：21a)
「わたしに対して苦い定めを書き記し若い日の罪をも今なお負わせられる。」 (13：26新)
- それでは、どうして自分が義人だと言えますか。
- 罪が赦され、義と見なされた人を神がどうしてもう一度罰せらるのか
- ヨブはどう信じたらいいかわからなくなる。生贄は無効なのか??
- あなたは？

神を訴えるヨブ「神様、あなたはサディストですか。」

「平穩に暮らしていたわたしを神は打ち砕き／首を押さえて打ち据え／的として立て13弓を射る者に包圍させられた。彼らは容赦なく、わたしのはらわたを射抜き／胆汁は地に流れ出た。」 16：12-13

「地よ。私の血をおおうな 私の叫びに休み場所を与えるな。」 16：18

●他の宗教にはこんな祈りがゆるされない。

ヨブの苦い (にがい) 祈り

「もうたくさんだ、いつまでも生きていたくない。ほうっておいてください わたしの一生は空しいのです。・・・いつまでもわたしから目をそらされたい。唾を飲み込む間すらも ほうっておいてはくださらない。人を見張っている方よ わたしが過ちを犯したとしても あなたにとってそれが何だというのでしょうか。」 (7：16-20 新共同訳)

●クリスチャンにはこんな祈りも聞く相手がいる。

●祈りとは何か

「祈りというのは、ありのままの自分でイエス様のところへ行き、感じているとおりに自分の問題をイエス様に話すことです。私たちは自分の感情や状況を、取り繕って言う必要はないのです。ヨブはどう感じ、どう思っているかを、神の面前で叫び、何度も何度も、友人たちにではなく、ただ神に向かって呼びかけます。これは、最後の演説に至るまで、まさにヨブの祈りなのだ気づかされます。」 マイリス・ヤナツツイネン 「主は取られる」

弁護士がほしいヨブ

「神は私のように人間ではないから、私は『さあ、さばきの座にいっしょに行こう。』と申し入れることはできない。私たちふたりの上に手を置く仲裁者が私たちの間にはいない。神がその杖を私から取り去られるように。その恐ろしさを私をおびえさせないように。そうすれば、私は語りかけ、神を恐れまい。いま私はそうではないからだ。」

(9：32-35)

弁護士の存在を信じ始めるヨブ

「地よ。私の血をおおうな 私の叫びに休み場所を与えるな。見よ／天にはわたしのために証人がある。」 ヨブ16：19 新解約

●天にある証人は神様と同じかたであるのか、それとも別の方？

- ヨブの信仰はメシアへの希望に変わる
- 苦しみの中でメシアを見出すヨブ
「このような時にも、見よ 天にはわたしのために証人があり 高い天にはわたしを弁護して下さる方がいる。わたしのために執り成す方、わたしの友。」16：19 新共同訳
- あなたのためにも天国に弁護士がいる。
- 神を訴えるヨブ「父のない子は母の胸から引き離され／貧しい人の乳飲み子は人質に取られる。...町では、死にゆく人々が呻き／刺し貫かれた人々があえいでいるが／神はその惨状に心を留めてくださらない。」24：9, 12
- 被告席におかれた神様
「ピラトがイエス様に死刑を宣告したとき、彼は不正な裁判官でした。しかしそのとき同時に、神が天の法廷で御子に下された死刑判決は、聖なる律法によるものでした。ヨブと私たちの罪に値する罰が下されたのです。イエス様は、私たちの弁護士になるためにはこの判決を受けるしかない、知っておられました。」マイリス・ヤナツイネン「主は取られる」

苦しみの中の信仰告白

- 「私は知っている。私を贖う方は生きておられ、後の日に、ちりの上に立たれることを。私の皮が、このようにはぎとられて後、私は、私の肉から神を見る。この方を私は自分自身で見ると。私の目がこれを見る。ほかの者の目ではない。」(19：25-27)
- ゴミ捨て場でヨブがいわれた言葉
 - 見ないで信じる信仰
 - 苦しみは最後の事実ではない。復活がそうである。
 - あなたをも贖った方は生きておられる
 - 神の勝ち
「ヨブがこう信仰告白をしたために、神はサタンとの賭けに勝たれます。まだゴミ溜めに座ったままの、すべてを失い、病にやつれたヨブがその言葉を口にしたという事実は、サタンは彼について間違っていたということを示しています。」「主は取られる」
 - やっぱり信仰義認でよかった

大震災の後、ヨブ記を読むとどんな答えが出るのか？

- 信仰の戦いを批判してはいけない。
- 苦い祈りを歓迎しなさい。
- 「それでもあなたの贖い主が生きておられる。」と苦しんでいる人にいいなさい。

主の答え

- 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた(38：1)
- 竜巻が子供を殺した。
 - 嵐と津波の中で語られる主
 - 裁判官の入廷
主の最初の言葉「知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。」(38：2)
 - ヨブは結局神様の摂理も計画も分からなかった。
 - 知恵のない言葉も言ってしまった。
 - 私たち人間には、そこまでの知識がないのです。
 - 東北の大震災の背後にある「摂理」も分かりにくい。
 - 神の計画が一生分からなくても、ヨブは神様のみ前から逃げなかった。

裁判官の尋問

- 主 「さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。あなたは知っているか。」(38：3-5)
- 主のすばらしい奇跡
すばるの鎖を引き締め オリオンの綱を緩めることがお前にできるか。
時がくれば銀河を繰り出し大熊を子熊と共に導き出すことができるか。 38：31-32
 - DNAをみて信じた人

水にむかって命令する神

- 「海は二つの扉を押し開いてほとぼしり／母の胎から溢れ出た。...しかし、わたしはそれに限界を定め／二つの扉にかんぬきを付け「ここまでは来てもよいが越えてはならない。高ぶる波をここでとどめよ」と命じた。」38：8-11
- ヨブの子供を殺した竜巻は？
 - 東北の津波は？

ヨブの口が閉ざされてしまう

- ヨブは主に答えて言った。「ああ、私はつまらない者です。あなたに何と口答えできましよう。私はただ手を口に当てるばかりです。一度、私は語りましたが、もう口答えしませんが。二度と、私はくり返しません。」(40：1-5)
- 苦い祈りはやはりだめだったのか？
 - 友人のほうが正しかったのか？

主の裁きを無効にしてはいけない

「あなたはわたしのさばきを無効にするつもりか。自分を義とするために、わたしを罪に定めるのか。」(40:7-8)

- 主の裁きを無効にするとは？
- 今の日本では？
- 「裁き」と「天罰」はどう違いますか？
- 預言者たちが語った裁き

わたしはお前を廃虚とし、すべての旅人の目にも、周りの国々にも、嘲りの的とする。...わたしは飢えと狂暴な獣をお前たちに送り込み、子供たちを奪わせる。疫病と流血はお前の中を通り抜ける。またわたしは剣をお前に臨ませる。主なるわたしがこれを告げる。」エゼキエル5:14-17

●十字架という『さばき』

それから、イエスは皆に言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。」ルカ9:23

- あなたにも今こういわれる。この「裁き」を無効にしてはいけない。

大震災の後、ヨブ記を読むと何が分かりますか

- 主には震災を止めさせる力がもちろんあった。どうして止めなかったかと聞いたら主の裁きを無駄にすることになる。
- わたしたちは大震災の事を主に審問できない。主のほうが私たちに審問なさる。
- 日本における神に左手のわざは救いのためである。

主の答え：ベヘモットとレビヤタン

「彼を挑発するほど勇猛な者はいまい。いるなら、わたしの前に立て。あえてわたしの前に立つ者があれば その者には褒美を与えよう。天の下にあるものすべてのものはわたしのものだ。」41:1-3

- 当時、この動物を支配できたのは主だけだった。

神の答えはなぜヨブに平安を与えたのか

ご計画「知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか(38:2)」。

- 第一の理由：自分の災いの背後にはちゃんと、ご計画があったとヨブが自然を見て分かったから。
- あなたの苦しみの背後にもご計画がある。

神のご計画を暗くすることは？

- そのご計画の背後には怒りや無関心があるとばかりヨブが思った。

- 神様はヨブの家族を天国に入れるために、この計画を立てられたのを疑ったこと。

- 津波もそうですか？

ヨブに平安を与えた第二の発見

神の心がけ

鳥(カラス)の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのは誰か。(38:41)

- 神様はからすの子まで食べさせるお方！

●イエスの解釈

「鳥のことを考えてみなさい。蒔きもせず、刈り入れもせず、納屋も倉もありません。けれども、神が彼らを養ってくださいます。あなたがたは、鳥よりも、はるかにすぐれたものです。」

(ルカ12:24-25)

ヨブは次のように結論したことと思います。「神がカラスの雛を始めとして自然界のすべてを守られるなら、わたしの子供たちを気にかけてられなかったらどうか。私の子供たちのために、いい計画をしてくださらなかったらどうか。私たちが悲劇に落とされても、それは愛からだのだ。私は始めからそれを信じるべきだった。」主は取られる

鳥よりも、はるかにすぐれたもの

- 皆さんの今心配しているその人、彼も鳥よりも、はるかにすぐれたものです

2011年9月からのマイリスの講座

水曜日 10:50

●旧約聖書の有名な人物

- ノア、ヤコブ、ヨセフ1、ヨセフ2、モーセ1、モーセ2、ルツ、サムエル1、サムエル2、サウル王、ダニエル1、ダニエル2

土曜日 13:30

●旧約聖書の有名なカップル

- アダムとエバ、アブラハムとサラ、イサクとリベカ、ヤコブとラケルとレア、デボラとバラク、ホセアとゴメル、エステルとペルシャ王

火曜日の夜 19:00

- 「よき知らせの学び」(聖研の講座)



大震災の後、ヨブ記を読む4 苦しみの意味は何か ヨブ記42

ヨブの最後の答え

ヨブは主に答えて言った。「あなたには、すべてができること、あなたは、どんな計画も成し遂げられることを、私は知りました。」

ヨブ記42：1-2

◆神様は何でもできるかた。

◆神様には、やはりご計画があった。

ヨブは自分が間違っていたことを認める

◆わたしには理解できず、わたしの知識を超えた／驚くべき御業をあげつらっております。「聞け、わたしが話す。お前に尋ねる、わたしに答えてみよ。」あなたのことを、耳にしてはおりました。しかし今、この目であなたを仰ぎ見ます。それゆえ、わたしは塵と灰の上に伏し／自分を退け、悔い改めます。

42：3b-6

◆神様は無関心ではなかった。サヂストではなかった。この世を支配することができる。

ヨブは苦しみの中で神を見た

「私はあなたのうわさを耳で聞いていました。しかし、今、この目であなたを見ました。」

42：5

◆み言葉のなかで

◆主との新しい出会いはヨブの苦しみの一つの目的だった

ヨブの正しい神観

主はエリファズに仰せられた。「...あなたがたがわたしについて真実を語らず、わたしのしもべヨブのようではなかったからだ。(42：7、8)

◆やはり苦い祈りでよかった。

ヨブの神観1.

「主は奪う。主の御名はほめたたえられよ。」1：21

「能者の矢に射抜かれ／わたしの霊はその毒を吸う。神はわたしに対して脅迫の陣を敷かれた。」6：4

「神は髪の毛一筋ほどのことでわたしを傷つけ／理由もなくわたしに傷を加えられる。」9：17

◆自分の苦しみを神の「せい」にしてよかった。主は責任転換をなさらなかった。

ヨブの神観2

「見よ／天にはわたしのために証人があり／高い天には／わたしを弁護してくださる方がいる。わたしのために執り成す方、わたしの友／神を仰いでわたしの目は涙を流す。」16：19-20

「わたしは知っている／わたしをあがなう方は生きておられ／ついには塵の上に立たれるであろう。この皮膚が損なわれようとも／この身をもって／わたしは神を仰ぎ見るであろう。」19：25-26

◆自分を非常に苦しめられた神様を、それでも信じるヨブ。その神様と会いたくて会いたくて...

友人がどんなところで間違っていたのか

◆主は...エリファズに仰せられた。「わたしの怒りはあなたとあなたのふたりの友に向かって燃える。それは、あなたがたがわたしについて...真実を語らなかつたから。(42：7)

◆信仰義認を知らない

◆一般的な宗教を信じる

◆苦い祈りを認めない

◆贖い主とか弁護士である神を知らない

ヨブの不幸は友人の救いになった

「しかし今、雄牛と雄羊を七頭ずつわたしの僕ヨブのところに引いて行き、自分のためにいけにえをささげれば、わたしの僕ヨブはお前たちのために祈ってくれるであろう。わたしはそれを受け入れる。お前たちはわたしの僕ヨブのようにわたしについて正しく語らなかったのだが、お前たちに罰を与えないことにしよう。」 42：8

◆和解

ヨブが友人たちのために祈ったとき、主はヨブを元の境遇に戻し、更に財産を二倍にされた。 42：10

◆赦すことの大切さ

◆心残りのない人生

遅くなったお見舞い

兄弟姉妹、かつての知人たちがこぞって彼のもとを訪れ、食事を共にし、主が下されたすべての災いについていたわり慰め、それぞれ銀一ケシタと金の環一つを贈った。 42：11

兄弟姉妹を赦すヨブ

◆今やっと、友人たちと親類は“病人の見舞い”と贈り物をするのを始めます。もしヨブがいやな気持ちのままなら、兄弟姉妹に贈り物を投げつけ、「私がすっかり絶望してゴミ溜めの中に座っていたとき、お前たちはどこにいたんだ。来るのが遅い！帰れ、二度とこの家に顔を出すな！」と叫んだでしょう。その反対にヨブは喜んで贈り物を受け取ります。主は取られる

ヨブの苦しみの意味、もう一度

「どうか／わたしの言葉が書き留められるように／碑文として刻まれるように。たがねで岩に刻まれ、鉛で黒々と記され／いつまでも残るように。」 19：23－24

◆苦しみはヨブの賜物となった

◆それから4000年間も苦しんでいる人を慰めたヨブ

◆神に栄光に与えたヨブ（賭けに神が勝れたから）

◆イエス様の雛形になったヨブ

◆あなたの苦しみは？

イエス様の雛形であるヨブ

共通点

◆神の僕

◆その苦しみは自分のせいではなかった。

◆三人の友人

◆二人とも『なぜ』と叫んだ。

◆いけにえを捧げる祭司

違い

◆ヨブは神に捨てられなかった。

◆イエス様の信仰：神に対して文句をおっしゃらなかった。

◆祭司だけではなく、いけにえそのもの

ハッピー・エンド・ヨブの第二の人生

主はヨブの前の半生よりあとの半生をもっと祝福された。それで彼は羊一万四千頭、らくだ六千頭、牛一千くびき、雌ろば一千頭を持つことになった。また、息子七人、娘三人を持った。（42：12－17）

◆わたしたちの人生にもハッピー・エンドが必ずあるのか？

失った子供を手放したヨブ

もう失ってしまったものを、もう一度手放すことは、人生の最も重要な課題のひとつです。ところが多くの方は、無くなったものに、あるいは失うのを恐れているものに必死でしがみついています。しかし失ったものから手を放さない人はだれでも、イエス様にすぎる手も隣人に伸ばす手もふさがっています。でも、あきらめるには一年・・・二年・・・五年・・・時間がかかります。主は取られる

苦しみはヨブの賜物となった

惨劇のないヨブの人生はよかったですでしょうか、みなさんはどう思いますか。もしなかったら、彼は気楽な人生を送り、金持ちのままに死んだでしょう。そして百年後には、だれも彼のことを耳にすることはなかったでしょう。苦しんだために、ヨブは人類史の中で大きな使命を与えられました。苦しむことは彼の人生

の一番重要な課題だったと言うことさえできます。本当に大切なことすべてを、彼はゴミ捨て場に座ってはじめて学んだともいえます。主は取られる

◆あなたはどうか。あなたのこれまでは、災いがなかった方がよかったですか。人生の廃墟の上に座っているときに、ほんとうに大切なことを、あなたも学んだのではないのでしょうか。あなたが生ける贖い主を見たのは、まさにそこだったでしょう。主は取られる

神は苦しみを与えるのか許すのか

「わたしが主、ほかにはいない。光を造り、闇を創造し／平和をもたらし、災いを創造する者。わたしが主、これらのことをするものである。」イザヤ45：6-7

兄弟姉妹、かつての知人たちがこぞって彼のもとを訪れ、食事を共にし、主が下されたすべての災いについていたわり慰めた。ヨブ42：11

◆その苦しみはもともと神様のご計画の中にあった。サタンも神様の仕事をするようになった。

神は苦しみを与えるのか許すのか、イエス様の解釈

「友人であるあなたがたに言うておく。体を殺しても、その後、それ以上何もできない子どもを恐れてはならない。5だれを恐れるべきか、教えよう。それは、殺した後で、地獄に投げ込む権威を持っている方だ。そうだ。言うておくが、この方を恐れなさい。ルカ12：4-5

この点において、クリスチャンたちの神学が違います。

グループAの神観

- ◆苦しみを望んでおられない愛の神
- ◆右手の業だけ行われる神
- ◆厳しいところのない神
- ◆津波などを決して送らない
- ◆そばにいて慰めて神、そのほかはできない
- ◆震災をどうして止めなかったのか？神は全能者ではないか？
- ◆地獄を否定しやすいグループ

グループBの神観

◆神は愛の神でありながら、聖なる方でもある。

- ◆左手の業も行われる
- ◆罪を裁かれ、罰せられる方
- ◆苦しみを通してでも人々を天国へ導きこうとしている方
- ◆あなたの神の毛まで数えられる全能者
- ◆救いを拒んだ人に永遠の罰を与える神

◆ご自分の苦しみを与える神を信じたイエス様

イエスはペトロに言われた。「剣をさやに納めなさい。父がお与えになった杯は、飲むべきではないか。」ヨハネ18：11

イエス・キリストの震災の後のメッセージ

「言うておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように滅びる。」ルカ13：4-5

- ◆このことを日本のキリスト教会が言う勇氣があるのか
- ◆悔い改めなかったらもっと大きな震災がやってくるかもしれない。
- ◆悔い改めるべき罪：性的行動、子供の虐殺、偶像礼拝
- ◆あなたの贖い主が生きておられる質問
- ◆ヨブ記の最後はどう思いますか。
- ◆ヨブ記の神観と現代の私たちの神観を比べてください。
- ◆ヨブ記からみなさんが学んだことで、一番大切なことは何ですか。

「震災の後、ヨブ記を読む会」

または「悲しい時、ヨブ記を読む会」

- ◆10x『主は取られる』から前もって一章ずつよむこと
- ◆10章のために質問がある
- ◆ヨブ記の聖研の手引きもいつかインターネットに出版される。
- ◆お問い合わせ mailis.janatuinen@gmail.com